

令和 4 年度東大阪市地域研究助成金事業
研究成果の今後の活用について

研究テーマ	地域におけるたばこ問題の解決に向けたネットワークづくりのための情報収集
担当部署	健康部 健康づくり課

研究概要	<p>【目的】 受動喫煙の状況やその捉え方について市民から情報収集を行い、今後のたばこ対策のあり方を検討するための基礎資料を得る</p> <p>【対象地域】 東大阪市内の A 地区（屋外の公共場所における受動喫煙について、過去に相談が寄せられていた地区）</p> <p>【研究内容】 ①個別インタビュー調査②A 地区の小学校および中学校における喫煙に関する健康教育</p>
研究成果	<p>①個別インタビュー調査の結果、受動喫煙の状況に対する捉え方は、相談後改善しているとの認識が多くみられた。その理由として、相談後の行政による喫煙禁止や受動喫煙防止に関するポスター等を掲示するという対応が、一定の効果を発揮しているとの認識が示された。</p> <p>②A 地区の小・中学校の児童や生徒を対象に、喫煙に関する健康教育、及び通学路における受動喫煙の状況や喫煙に対する認識の振り返りを行った。結果、小・中学生ともに、半数以上が通学の途中で、たばこの煙やにおいなどの影響を受けることがあると感じていた。また、自身が受動喫煙を受けないことや、喫煙しないことについて、重要と認識している児童・生徒が 9 割以上であった。以上より、今後も継続的に教育啓発を行っていくことの必要性が示唆された。</p>
今後の活用	<p>研究成果から、受動喫煙に関する相談を受けた際、対象地域の関係機関と共に啓発などを考え、実施していくことが大切であることが分かった。また、地域の小学校・中学校における、たばこに関する健康教育を行うことで、防煙意識を育むことが出来ることが分かった。</p> <p>今後、研究成果を踏まえた効果的な受動喫煙防止の啓発方法を検討する。また、小中学校に対する効果的な健康教育の手法について検討する。</p>